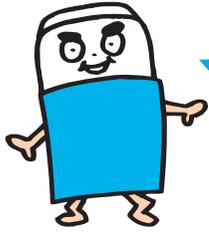
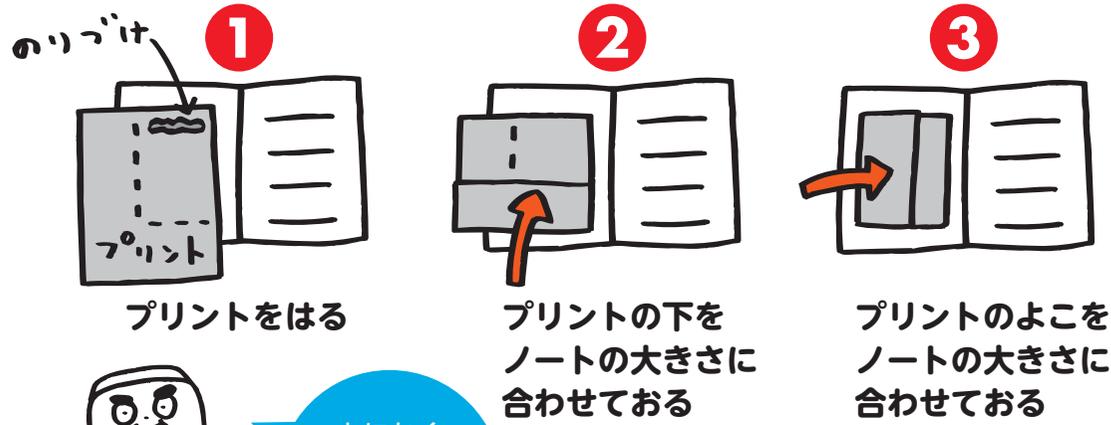


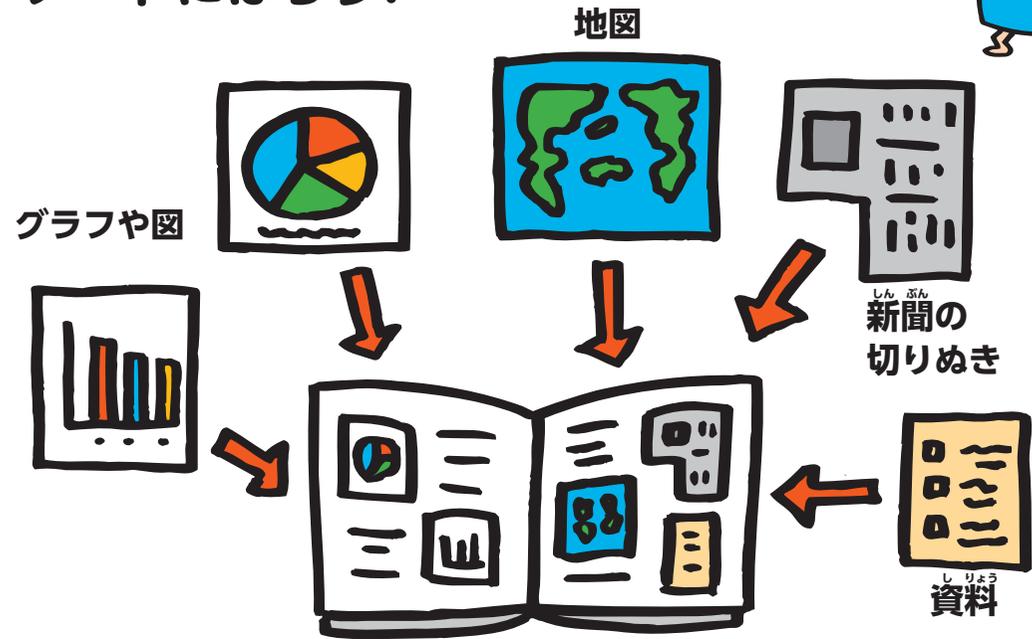
プリントが大きい場合は、はってからおる



とにかく
プリントは
はってしまおう!

プリント以外もどんどんノートにはろう!

ないうち
内容に
関係する
ものは、
何でもはろう



約束 6 テクニック5

プリントは、ノートにはろう!

4年生

プリントは先生からのお手紙

授業では、さまざまなプリントが配られます。そのプリントを破いてしまったり、なくしてしまったりしたことはありませんか？

プリントには、先生がキミに勉強してほしい大事なことが書かれています。それを全部、ノートに書くのは大変だろうからと、先生がつくってくれたものです。プリントは、キミのことを思う先生からのお手紙のようなもの。大切に扱ってほしいです。

そこで、プリントは先生から配られたらすぐに、ノートにはってしまいましょう。こうすればなくなりませんし、プリントの内容とノートに

書いた内容をいつしよに見直すことができる便利なノートになります。

ノートがオリジナルの参考書に!

穴埋め式問題のプリントを使う授業があります。そんなときは、答えだけを穴埋めするのではなく、先生や友だちが話したことをプリントのあきスペースやノートに書くことで、より授業の内容が理解できるようになります。

また、ノートには、プリントだけではなく、授業で習った内容に関する資料や写真、図やグラフなどもはっていきましょう。そうすると、見直したときに、大事なことがすべて書かれたキミ専用のオリジナルの参考書のようなノートになりますよ。

田 おうちの方へ

大切な情報はすべて、ノートに一元化する!

東大生の多くは、授業で学んだことはもちろん、それ以外の勉強で得た知識をノートに一元化していきます。そうすることで、あとあと、教科書や参考書など、ほかのテキストを開かずとも、ノートさえ見れば自分にとって必要な知識がすぐに手に入るようにしているのです。そのノートはまるで、オリジナルの参考書のような役割を果たします。

お子さまが、いずれ自分にとって必要な情報のすべてをノートにまとめる力をつけるために、まずは、授業で配られたプリントをノートに貼ることから始めてください。これを習慣づけることで、少しずつ、ノートに必要な情報を一元化していくくせがついていきます。